

部活動の地域移行に向けて～地域とともにあるスポーツ・文化活動環境整備への理解を進めるために！～

令和6年3月発行
第2号
丹波市教育委員会

○丹波市では、休日の部活動の地域移行に向けた取組を進めています！

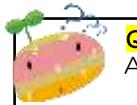
丹波市では、児童生徒数の減少による部活動数の維持・継続の困難さ、それに伴う生徒のニーズに応じたスポーツ・文化活動の維持困難、教員にとっての過重な業務負担等の中学校部活動の現状を踏まえ、国が進める部活動の地域移行を視野に入れた休日の地域クラブ活動の在り方について協議を進めてきました。

これからを生きる子どもたちに、少子化の中でも将来にわたってスポーツ・文化芸術活動等に継続して親しむことができる環境を整えていくために、まずは、休日の部活動の地域移行に向けた取組（休日は学校部活動を行わず、地域クラブ活動を主体とした活動を行う）を進めています！

地域クラブ活動の実現に向けたコンセプト



丹波市の考える「地域クラブ活動」って？



Q: 「地域クラブ活動」とは何？

A: 中学校で行われている学校部活動とは別に、学校外の地域の人を中心となって行う新しい形のクラブ活動です。

Q: 地域クラブ活動は、今ある社会体育の活動とは違うのですか？

A: ここで言う地域クラブ活動は、学校の部活動を地域に移行した活動になります。そのため、丹波市教育委員会と活動を運営する団体との協議の上、丹波市教育委員会が認定した団体が行う活動を地域クラブ活動と呼ぶようになっています。

Q: 地域クラブ活動は休日だけの活動ですか？

A: まずは、休日の地域移行を先行して進めていきます。そのため、当面の間は、休日での活動のみを行なながら、成果と課題を検証し、可能なところから平日の活動にまで拡大していく予定です。（但し、平日の活動を地域クラブ独自で行っている場合もあります。）

Q: 地域クラブ活動は、誰でも参加できるのですか？

A: 活動を運営する団体の指導者数、現存する学校の部活動等の実情を考慮し、活動によっては対象を限定する場合もありますが、基本的には子どもの意志を尊重するようにします。



丹波市では、以下のような基本的な考え方をもとに、休日の地域クラブ活動への移行を進めていきます！

【地域クラブ活動の移行に係る基本的な考え方】

- (1) 地域の中で受け皿となるスポーツ・文化活動団体が確保できていることを前提に、地域移行可能な種目（内容）から地域クラブ活動への移行を進める。
- (2) 「地域移行可能な種目」については、学校との協議の中で決定する。
→学校における地域移行可能種目と地域団体の受け皿とのマッチングが完了した種目から移行する。
- (3) 地域クラブ活動の実施に当たっては、学校の教育課程とは完全に切り離し、生徒の参加についても自由選択とする。
- (4) 地域クラブ活動の実施に当たっては、まず、休日における地域移行を基本とし、休日の移行実態を踏まえた上で平日の移行を検討していくものとする。



令和6年度より、丹波市におけるより良い地域移行の在り方を検証していくために、休日の「地域クラブ活動モデル事業」を実施します！

モデル①：丹波市剣道連盟 中学部

対象：原則、剣道部がない市内中学校の生徒
※剣道部がある中学校の生徒でも練習のみの参加は可能です。
活動場所：船城小学校体育館又は青垣住民センター体育館 等
大会参加等：中体連主催大会にも地域クラブ活動として参加します。

モデル②：春日・市島ベースボールクラブ（軟式野球）

対象：春日中学校、市島中学校の生徒
活動場所：春日中学校グラウンド
大会参加等：令和6年度は中体連主催大会には参加しませんが、令和7年度より中体連主催大会に地域クラブ活動として参加予定です。

※モデル事業への参加方法など、詳細について知りたい方は、丹波市教育委員会学校教育課まで問い合わせてください。（モデル事業については、各中学校の部活動紹介でも紹介されます。）



○丹波市においては、可能な限り生徒のニーズに対応できる持続可能なスポーツ・文化活動環境の整備を進めていくために、まずは、休日における部活動の地域移行を進めていきます。保護者・地域の皆様におかれましても、子どもたちにとつての持続可能なスポーツ・文化活動環境整備の構築に向けて、どうぞ理解・ご協力をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

○丹波市教育委員会では、地域クラブ活動の受け皿となっていたりする団体を探しています。関心がある方は、丹波市教育委員会学校教育課までご連絡ください。
(連絡先：0795-70-0811)